

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年2月7日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	周南市	代表者名	周南市長 藤井律子
担当者部署	行政管理部 情報管理課	連絡先電話番号	0834-22-8236
担当者役職		担当者氏名	
住所	745-8655 山口県周南市岐山通1丁目1番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山澤 浩幸
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	事前の打ち合わせでお願いしたとおり、「スマート自治体」の取組みの必要性から説明いただき、三条市の具体的な取組み(マイナンバーカードの利活用、びったりサービスなど)を詳しく説明いただいた。また、本市が来年度導入を検討しているRPAやAI-OCRなど新たな技術導入における課題等にも言及いただけたこと。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、本市のスマート自治体の推進にあたり、課題等が生じた場合などは、ご支援、ご協力いただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月3日	14時00分	15時40分		100
3-2. 派遣場所	会場名	周南市役所		最寄駅	JR徳山駅
	所在地	周南市岐山通1丁目1番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩圏内			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	周南市職員及び自治体クラウド構成団体等自治体職員	62人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	現在、生産年齢人口の減少や、超スマート社会であるSociety5.0を背景に、ICTを効果的・効率的に活用する「スマート自治体」への転換が求められており、スマート自治体の推進に向けては、情報担当課だけでなく、市の全職員でICT利活用を意識した取り組みが必要である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	ICT利活用を推進していくため、先進的な取組みを行っている他団体の事例を拝聴することで、参加職員の意識啓発を目指している。さらに、引き続き、継続的な取組みを行うことにより、市職員全体の意識改革を実現し、効果的・効率的にICT活用する自治体へと変革することを期待している。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	「スマート自治体」という初歩的な内容から、情報システムの共同化・共同調達や、三条市独自のマイナンバーカードを利用した住民サービス、さまざまな目的への「びったりサービス」活用など先進的な取組みを紹介いただいた。また、AIやRPAなどの新たな技術導入についての先進事例や導入する際の課題なども示唆していただいた。なお、講演前、本市副市長及び情報担当部長等とも情報交換を行った。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	来年度、情報担当課を主管として、計画等の策定を予定している「スマート自治体」推進計画や、自治体業務以外も対象とした「スマートシティ」構想検討に向けた良い機会、キックオフとすることができた。引き続きICTに関連する講演会等を継続実施して、来年度、職員主導による推進計画や構想を策定したいと考えている。今後も、引き続きICTに関連する講演会や職員へのPR等を継続実施して、職員主導によるスマート自治体の推進計画やスマートシティ構想を策定したい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	来年度、情報担当課を主管として、計画等の策定を予定している「スマート自治体」推進計画や、自治体業務以外も対象とした「スマートシティ」構想検討に向けて、職員への周知や意識付けの良い機会となった。今後、ICT利活用に向けて職員のボトムアップを図るには、RPAやAI-OCRなど先進的なICTについて、職員へのPR等に努める必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者からRPA、AI-OCRなど個別説明を望む意見もあったが、概ね三条市の先進的な取組みの内容、その必要性は理解できたようである。また、具体的なAI・RPAの導入事例、スマートシティなどをテーマとした講演会を期待する意見があり、来年度以降もアドバイザー講演会を開催したい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	AIやRPAなどICTについて全職員への周知PRを図りつつ、来年度中に計画や構想を策定する。将来的に、「スマート自治体」だけでなく、ICT利活用により住民生活の利便性や快適性を向上させるとともに、人々が安心・安全に暮らせる、周南市にふさわしい「スマートシティ」を実現したい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



スマート自治体の実現に向けた
ICTの活用
～持続可能な行政サービスを目指して～

令和2年2月3日
三条市総務部 情報管理課 山澤浩幸

目次

1. スマート自治体とは
2. 三条市のICTの取組
3. カード独自サービス
4. ぴったりサービス、キャッシュレス
5. さらなる働き方改革
6. 国への期待